

経営比較分析表（平成28年度決算）

千葉県国保吉病院組合 いすみ医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	11,669	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

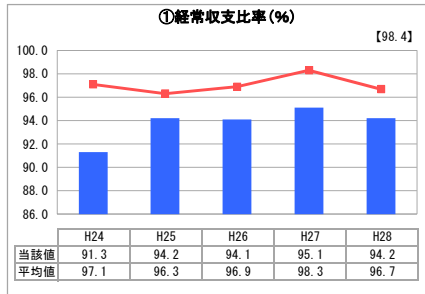
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
92	48	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	144
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
88	36	124

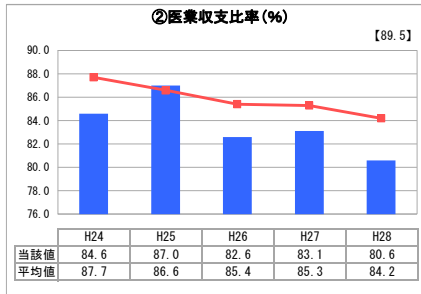
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

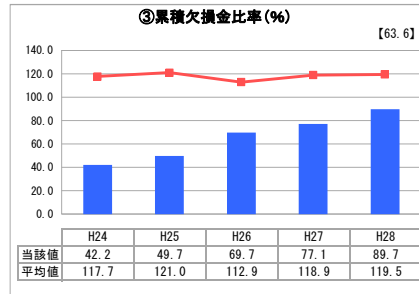
1. 経営の健全性・効率性



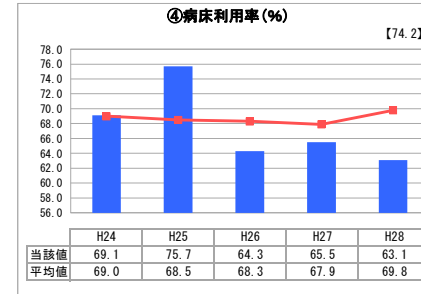
「経常損益」



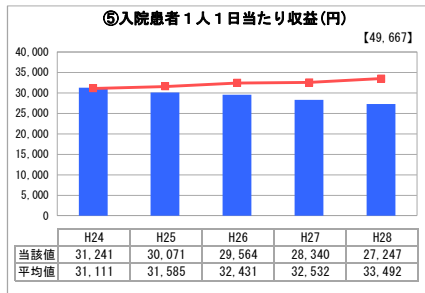
「医療損益」



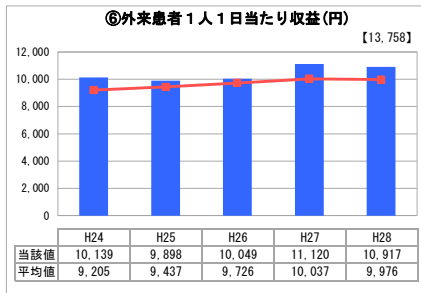
「累積欠損」



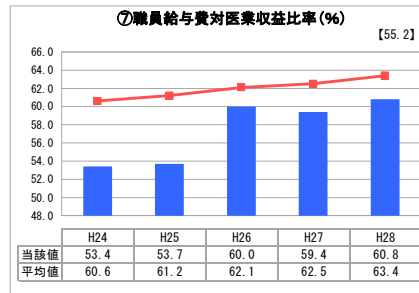
「施設の効率性」



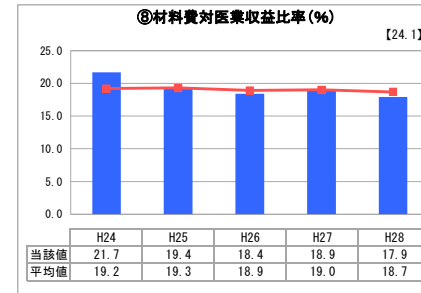
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

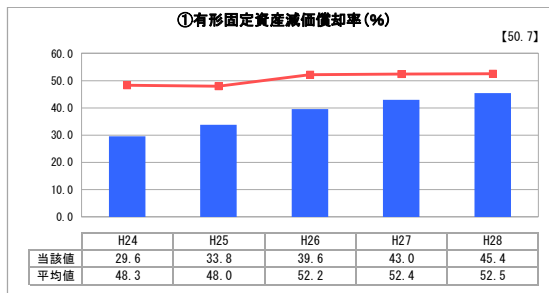


「費用の効率性①」

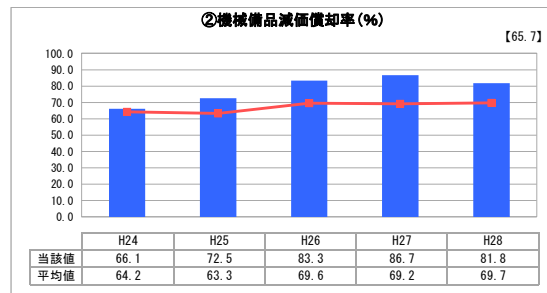


「費用の効率性②」

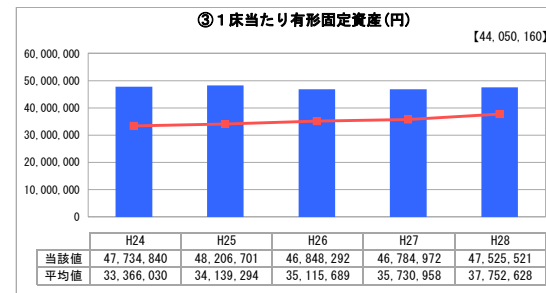
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当地域は、人口減少が著しく、不採算地区であり、当院の他に一般病床を有する病院がない。そのような医療過疎地のなか、高齢化が著しく医療ニーズの高い地域において、急性期から慢性期、在宅医療に対応しており、地域の中核病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医療収支比率、病床利用率ともに類似病院の平均値を下回っており、非常に厳しい経営状況にある。
入院患者1人1日当たりの収益は手術件数が減少したことから類似病院の平均値より下回っている。
職員給与費対医療収益比率は医療収支が大幅に減少したことで上昇傾向となっている。
材料費対医療収益比率は入院患者数減少していることでの減少。また外来での高額医薬品使用者が増加したことにより増加している。

2. 老朽化の状況について

平成21年2月に新病院開院。その当時に購入した医療器械等の更新が必要な状態になってきている。
今後、保守、修理対応等が終了し、修繕等が行えない器械から順次更新を行っていく予定である。

全体総括

赤字の要因として常勤整形外科医の退職、千葉大学からの外科医師派遣数減、それに伴い手術件数、入院患者数が大幅に減少。また看護師の退職が相次ぎ、入院制限で対応していたがH29年3月には、一部病棟休止をせざるを得ない状況となり、一般病床を96床から48床へ縮小したことが影響している。
医師、看護師確保は最優先課題であり、あらゆる方法で確保に努め、看護師確保はある程度目途が立ち、休止中の病棟を平成31年度中に再開予定であり、それにより収支の改善が見込まれる。
また新公立病院改革プランの見直しを行い経営状況改善に向けて取り組んでいく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。